

平成31年度帰国子女入試基本方針

実施学部・学科等名	<p>文学部，教育学部，法学部，経済学部，理学部（数学科，物理学科，化学科，生物科学科（生物学専修分野，高分子機能学専修分野），地球惑星科学科），医学部（医学科，保健学科（看護学専攻，放射線技術科学専攻，検査技術科学専攻，理学療法学専攻，作業療法学専攻）），歯学部，薬学部，工学部（応用理工系学科，情報エレクトロニクス学科，機械知能工学科，環境社会工学科），農学部，獣医学部，水産学部</p>
募集人員	<p>入学者選抜は，学部・学科・専攻等別に行い，募集人員は各学部・学科・専攻等とも若干名とし，一般入試の次の募集人員の内数とする。</p> <p>①文学部，教育学部，法学部，経済学部，医学部，獣医学部，水産学部は，学部別入試の前期日程試験の募集人員の内数</p> <p>②理学部，歯学部，薬学部，工学部，農学部は，学部別入試の後期日程試験の募集人員の内数</p>
出願資格・要件	<p>日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者で，海外に在住し外国の学校教育を受け，かつ，次に掲げる基礎資格及び要件に該当するもの</p> <p>(1) 基礎資格</p> <p>次のいずれかに該当すること。</p> <p>ア 外国において，学校教育における12年の課程（※1～2）を修了した者及び平成31年（2019年）3月31日までに修了見込みの者</p> <p>※1 日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。</p> <p>※2 高等学校は地理的・場所的に日本国外にあり，その所在国の正規の教育制度に基づく学校であること。インターナショナルスクールやアメリカンスクール等の課程修了の場合は，当該学校が所在国において正規の教育制度に基づく12年の課程として認められている必要がある。</p> <p>イ 外国において，スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者で，18歳に達したものと及び平成31年（2019年）3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>ウ 外国において，ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者で，18歳に達したものと及び平成31年（2019年）3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>エ 外国において，フランス共和国の大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で，18歳に達したものと及び平成31年（2019年）3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>(2) 要件</p> <p>次に掲げるすべての要件に該当すること。</p> <p>ア 外国において，在住国の正規の教育制度に基づく高等学校に最終学年を含む2年以上継続して在学したこと。ただし，文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設又は高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定した在外教育施設に在学した者については，その期間を外国において学校教育を受けたものとみなさない。</p> <p>イ 基礎資格取得後2年以内であること。〔平成29年（2017年）4月1日から平成31年（2019年）3月31日までの間に取得又は取得見込みであること。〕</p> <p>ウ 医学部医学科を志願する者は，TOEFL-PBT，TOEFL-iBT又はTOEIC L&Rを受験し，TOEFL-PBTの得点は500点以上，TOEFL-iBTの得点は61点以上，TOEIC L&Rの得点は550点以上であること。</p> <p>(3) その他</p> <p>国家試験等の統一試験がある国では，その統一試験を受験していることが望ましい。</p>

選 抜 方 法

文学部

資格・成績証明書等、推薦書、自己推薦書、諸活動の記録、課題論文及び面接等の結果を総合して合格者を決定する。

1 第1次選考

資格・成績証明書等、推薦書、自己推薦書、諸活動の記録により選考を行う。

2 第2次選考

第1次選考に合格した者に対して、課題論文を課し、面接を行う。

- ・課題論文：読解力、論理的思考力、問題発見能力、表現力等を問う。
- ・面接：人間や人間の社会・文化・歴史に対する知的関心の度合い、学ぶことに対する目的意識・意欲、表現力等を問う。

教育学部

資格・成績証明書等、推薦書、自己推薦書、課題論文及び面接等の結果を総合して合格者を決定する。

1 第1次選考

資格・成績証明書等、推薦書、自己推薦書により選考を行う。

2 第2次選考

第1次選考に合格した者に対して、課題論文を課し、面接を行う。

- ・課題論文：読解力、論理的思考力、表現力及び日本語能力等を総合的に問う。
- ・面接：目的意識、意欲、論理的思考力、表現力等を問う。

法学部

資格・成績証明書等、推薦書、自己推薦書、諸活動の記録、課題論文及び面接等の結果を総合して合格者を決定する。

1 第1次選考

資格・成績証明書等、推薦書、自己推薦書、諸活動の記録により選考を行う。

2 第2次選考

第1次選考に合格した者に対して、課題論文を課し、面接を行う。

- ・課題論文：読解力、問題発見能力、論理的思考力、表現力等を問う。
- ・面接：目的意識、適性、基礎学力等を問う。

経済学部

資格・成績証明書等、推薦書、自己推薦書、諸活動の記録、課題論文及び面接等の結果を総合して合格者を決定する。

1 第1次選考

資格・成績証明書等、推薦書、自己推薦書、諸活動の記録により選考を行う。

2 第2次選考

第1次選考に合格した者に対して、課題論文を課し、面接を行う。

- ・課題論文：論理的思考力、問題発見能力、表現力等を総合的に問う。
- ・面接：個性、意欲、資質、適性、基礎学力などを問う。

理学部数学科

資格・成績証明書等、推薦書、自己推薦書、総合問題及び面接等の結果を総合して合格者を決定する。

1 第1次選考

資格・成績証明書等、推薦書、自己推薦書により選考を行う。

2 第2次選考

第1次選考に合格した者に対して、総合問題を課し、面接を行う。

- ・総合問題：数学の問題を出題し、数学についての発想力、計算力、論理的思考力、表現力を評価する。
- ・面接：数学に関する質疑により資質を判定し、数学への興味・意欲及び基礎学力を問う。

選 抜 方 法

理学部物理学科

資格・成績証明書等、推薦書、自己推薦書、諸活動の記録、課題論文及び面接等の結果を総合して合格者を決定する。

1 第1次選考

資格・成績証明書等、推薦書、自己推薦書、諸活動の記録により選考を行う。

2 第2次選考

第1次選考に合格した者に対して、課題論文を課し、面接を行う。

- ・課題論文：数学的素養、論理的思考力、及びこれに基づき現象を解明するセンスを問う。
- ・面接：物理学に対する興味、意欲、適性、そして暗記に頼らない問題解決能力を問う。

理学部化学科

資格・成績証明書等、推薦書、自己推薦書、課題論文及び面接等の結果を総合して合格者を決定する。

1 第1次選考

資格・成績証明書等、推薦書、自己推薦書により選考を行う。

2 第2次選考

第1次選考に合格した者に対して、課題論文を課し、面接を行う。

- ・課題論文：基礎的な科学的知識、論理的思考力、語学能力を問う。
- ・面接：意欲、目的意識、化学に対する興味、適性等を問う。

理学部生物科学科（生物学専修分野、高分子機能学専修分野）

資格・成績証明書等、推薦書、自己推薦書、課題論文及び面接等の結果を総合して合格者を決定する。

1 第1次選考

資格・成績証明書等、推薦書、自己推薦書により選考を行う。

2 第2次選考

第1次選考に合格した者に対して、課題論文を課し、面接を行う。

- ・課題論文：論理的思考力を問う。
- ・面接：意欲、目的意識、生物科学に対する興味、適性及び基礎学力等を問う。

理学部地球惑星科学科

資格・成績証明書等、推薦書、自己推薦書、課題論文及び面接等の結果を総合して合格者を決定する。

1 第1次選考

資格・成績証明書等、推薦書、自己推薦書により選考を行う。

2 第2次選考

第1次選考に合格した者に対して、課題論文を課し、面接を行う。

- ・課題論文：論理性と判断力を問う。
- ・面接：意欲、目的意識、論理的思考力を問う。

医学部医学科

資格・成績証明書等、推薦書、自己推薦書、諸活動の記録、課題論文及び面接等の結果を総合して合格者を決定する。

1 第1次選考

資格・成績証明書等、推薦書、自己推薦書、諸活動の記録により選考を行う。

2 第2次選考

第1次選考に合格した者に対して、課題論文を課し、面接を行う。

- ・課題論文：日本語能力、論理性、読解力、思考力、判断力等を問う。
- ・面接：主に、日本の高等学校における理科（物理・化学・生物の3科目）について、高い理解力を有しているかを問う他、意欲、目的意識、実行力、適性等を問う。

選 抜 方 法

医学部保健学科

資格・成績証明書等、推薦書、自己推薦書、諸活動の記録、課題論文及び面接等の結果を総合して合格者を決定する。

1 第1次選考

資格・成績証明書等、推薦書、自己推薦書、諸活動の記録により選考を行う。

2 第2次選考

第1次選考に合格した者に対して、課題論文を課し、面接を行う。

- ・課題論文：日本語能力、論理性、読解力、思考力、判断力等を問う。
- ・面接：意欲、目的意識、実行力、適性等を問う他、放射線技術科学専攻志願者にあつては、日本の高等学校における理科の物理について、検査技術科学専攻志願者にあつては、日本の高等学校における理科の化学について、高い理解力を有しているかを問う。

歯学部

資格・成績証明書等、推薦書、自己推薦書、諸活動の記録、課題論文及び面接等の結果を総合して合格者を決定する。

1 第1次選考

資格・成績証明書等、推薦書、自己推薦書、諸活動の記録により選考を行う。

2 第2次選考

第1次選考に合格した者に対して、課題論文を課し、面接を行う。

- ・課題論文：読解力、論理的思考力を問う。
- ・面接：意欲、表現力、論理性、協調性及び日本の高等学校における理科（物理・化学・生物の3科目）のうち、本学が指定した2科目の理解度を問う。

薬学部

資格・成績証明書等、推薦書、自己推薦書、総合問題及び面接等の結果を総合して合格者を決定する。

1 第1次選考

資格・成績証明書等、推薦書、自己推薦書により選考を行う。

2 第2次選考

第1次選考に合格した者に対して、総合問題を課し、面接を行う。

- ・総合問題：基礎的な科学的知識、論理的思考力、語学力を問う。
- ・面接：意欲、目的意識、積極性、論理性、会話の簡潔性、理科（物理・化学・生物のうちで高校等で履修した2科目）の理解度を問う。

工学部

資格・成績証明書等、自己推薦書、課題論文及び面接等の結果を総合して合格者を決定する。

1 第1次選考

資格・成績証明書等、自己推薦書により選考を行う。

2 第2次選考

第1次選考に合格した者に対して、課題論文を課し、面接を行う。

- ・課題論文：科学技術を素材にして、論理的思考力、洞察力、表現能力を問う。
- ・面接：意欲、目的意識、実行力、基礎学力等を問う。

農学部

資格・成績証明書等、推薦書、自己推薦書、諸活動の記録、課題論文及び面接等の結果を総合して合格者を決定する。

1 第1次選考

資格・成績証明書等、推薦書、自己推薦書、諸活動の記録により選考を行う。

2 第2次選考

第1次選考に合格した者に対して、課題論文を課し、面接を行う。

- ・課題論文：自分の考えを論理的に記述する能力を問う。
- ・面接：意欲、目的意識、論理性、協調性、適性、基礎学力等を問う。

選 抜 方 法	<p>獣医学部</p> <p>資格・成績証明書等，推薦書，自己推薦書，諸活動の記録，総合問題及び面接等の結果を総合して合格者を決定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 第1次選考 資格・成績証明書等，推薦書，自己推薦書，諸活動の記録により選考を行う。 2 第2次選考 第1次選考に合格した者に対して，総合問題を課し，面接を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・総合問題：高等学校で学習する理科（物理，化学，生物）の理解度，読解力，論理的思考力を問う。 ・面 接：意欲，資質，適性，基礎学力等を問う。 <p>水産学部</p> <p>資格・成績証明書等，自己推薦書，課題論文及び面接等の結果を総合して合格者を決定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 第1次選考 資格・成績証明書等，自己推薦書により選考を行う。 2 第2次選考 第1次選考に合格した者に対して，課題論文を課し，面接を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・課題論文：読解力，論理的思考力を問う。 ・面 接：目的意識，積極性(意欲)，表現力，協調性等を問う。
---------	--